

台風19号各種支援制度概要（福島県&宮城県）

大型の台風19号の被害は広範囲に渡り、東北地方も多くの被害に見舞われました。避難元やご家族の住宅は大丈夫でしょうか。今月は各地域の支援についての情報を共有いたします。

福島市 総合窓口

場所 市役所1階 市民情報室
開設時間 9:00～16:00(平日、土日祝日)
電話番号 024-572-5462

各種支援制度 1)罹災証明書・被災証明書の発行 2)市営住宅への仮入居 3)住宅の応急修理 4)災害見舞金支給 5)水道料金・下水道使用量の減免 6)住宅の消毒 7)水害ゴミの処理 8)救援物資の配布 日本赤十字社

いわき市 被災者相談総合窓口

場所 市役所本庁1階 ふるさと再生課
開設時間 平日 8:30分～17:15
電話番号 0246-22-1245、22-7437

コールセンター

電話番号 0246-38-4329
開設時間 8:30～5:30
(土・日・祝祭日についても当面对応)

各種支援制度 1)罹災証明書・被災証明書の発行 2)国民健康保険被保険者証等の再発行 3)国民年金保険料免除申請制度 4)介護保険被保険者証等の再発行 5)いわき市被災救助援助金 6)災害弔慰金 7)災害援護資金貸付金 8)ストーマ装具無料交付 9)学用品の支給教科書再給与 10)平窪地区、赤井地区、小川地区で買い物バスを当面の間運行

角田市

場所 総務部防災安全課
電話番号 0224-63-2123

各種支援制度 1)罹災証明書・罹災(りさい)証明書・罹災届出証明書の発行 2)災害ごみの片付けのための袋(土のう袋)の配布 3)災害仮置き場の設置 4)阿武隈急行線お客様救済バスの運行

石巻市

場所 石巻市役所
代表電話番号 0225-95-1111

各種支援制度 1)罹災証明書・罹災証明書・罹災届出証明書の発行 2)災害ごみ搬入

相馬市

場所 相馬市役所
代表電話番号 0244-37-2120

断水の対応中で詳細まで決定・広報段階にあらず。決定次第随時ホームページに内容を更新予定(10月21日現在)
各種支援制度 1)罹災証明書の発行 2)瓦礫・廃棄物などの処理 3)農業用資材の廃棄物 4)土砂を集める麻袋の配布

仙台市

場所 各区役所
各種支援制度 1)罹災証明書・罹災(りさい)証明書・罹災届出証明書の発行 2)市税の減免・納税3)相談・申告期限の延長等 4)災害弔慰金 5)災害障害見舞金 6)災害援護資金の貸付 7)埋火葬費用の給付 8)生活福祉資金・社会福祉資金の貸付9)国民健康保険料の減免 10)国民健康保険一部負担金の減免 11)国民年金保険料の免除 13)介護保険料・介護保険サービス利用料の減免等 14)各種障害福祉制度に係る支援15)ごみ処理手数料の減免 16)保育料の減免について17)被災住宅の応急修理制度 18)市営住宅への一時受け入れ 19)仙台市宅地防災工事資金融資 20)災害等に伴う建築確認申請等手数料等の免除 21)中小企業・農業支援

郡山市 相談窓口

場所 郡山市役所正庁(本庁舎2階)
開設時間 8:30～17:15(土・日曜日、祝休日も開設)
電話番号 0800-800-5333(フリーダイヤル)

各種支援制度 1)罹災証明書の発行 2)災害見舞金 3)災害慰金(国) 4)災害障害見舞金(国) 5)災害救援資金貸付金 6)市税などの減免 7)国民年金第一号被保険者の国民年金保険料の免除 8)後期高齢医療保険料の減免 9)保健所利用世帯への支援 10)就学支援 11)水道料金の減免 12)下水道使用量・農業集落排水施設使用量の減免 13)仮換地に係る証明手数料などの免除 14)県営住宅への仮入居 15)農地・山林災害の対策相談 16)農業等災害対策 17)保健師による健康相談 18)浸水家屋の消毒・消石灰配布 19)災害ごみの収集&受け入れ&処分

Message

避難者の皆様へ
message from minnanote

みなさま台風19号の被害には遭いませんでしたか？
みんなの手のツアーも台風の影響を考え中止しました。8年間の中で初めてツアーをキャンセルしたことは大変残念だったのですが、皆様の安全を確保できたことが何よりでした。11月3日、12月、1月のツアーもありますので、ぜひご参加ください。ふるさとそして遠方に居住している仲間とつながりましょう！！

Event Info

みんなの手主催のイベントや事業のお知らせです。

11月の避難者交流会

トロッコ電車で紅葉を見ながら芋煮を楽しもう！

日程 2019年11月17日(日)
集合/解散 JR嵯峨野駅 集合 8:40 解散17:30
内容 トロッコ電車乗車しながら紅葉を楽しむ。東北のいも煮を河原で楽しむ。
参加費 1,500円
申込締切 11月10日17時(トロッコ電車座席予約のため締切日厳守)
お申込 加者名・人数・乗車場所・電話番号・メールアドレスを記載の上、みんなの手(minnanotekyoto@gmail.com 070-5656-5621)までお申し込みください。



12月の避難者交流会

交流クリスマス&忘年会

2019年の最後を一緒に過ごしませんか。交流がメインです。友達や家族を誘ってお越しください。その日のメニューはお楽しみに！

日程 2019年12月21日(土) 18時～
内容 オリジナルクリスマスディナー交流会
場所 きのわ
参加費 大人 1,000円 子供 500円
申込締切 12月16日
お申込 参加者名・人数・乗車場所・電話番号・メールアドレスを記載の上、みんなの手(minnanotekyoto@gmail.com 070-5656-5621)までお申し込みください。

ふるさととつながろうツアー

11月のツアー

如春荘での交流会～「食欲の秋」「芸術の秋」を楽しむ～市民活動について知る～

日程 2019年11月3日
集合 11時 福島駅東口在来線改札口
内容 福島の生産者がこぞって出品しているグッディマーケットで秋の味覚を探すと、如春荘でいも煮を楽しみながら避難者&地元の方との交流を図る&希望者は県立美術館でアートを楽しむ
定員 20名
スケジュール 福島駅前の生産者市場「グッディマーケット」訪問
如春荘到着「秋の交流いも煮会」(オプション 福島県立美術館見学 生誕120年・没後100年福島県白河出身の関根正二展 16:45 福島駅 解散→移動 飯坂電車



ひとりぼっちじゃない
みんな一緒に手をつなごう

みんなの手
MINNANOTE NEWSLETTER
ニュースレター
11

2019 November
Take Free

みんなの手主催「12月・1月のイベント」

12月のツアー

「いわきからオーガニックコットンで福島を元気に！」

～市民参加型の農業再生プロジェクトについて伺う～

日時 2019年12月28日(日) 11時～16時半

集合 郡山駅 10:15 解散 郡山駅 18:00

定員 30名

内容 農業従事者が高齢化を迎えて激減する中で起こった東日本大震災。地震・津波・原発事故・風評被害という複合災害に見舞われ、ますます農業従事者が疲弊する中で「ふくしまコットンプロジェクト」は始まりました。目的は、食用でなく、塩害にも強く、放射性物質の移行係数が低いとされる綿を有機栽培で育て、製品化することにより、福島県の農業の再生、及び地域に活気と仕事を産み出すことです。これまで、いろんな人が参加することで繋がり、楽しみながら、励まし合いながら、ふくしまの復興へと歩んできました。

2019年最後のツアーは「ふくしまコットンプロジェクト」のオーガニックコットン畑を訪問し主宰の吉田さんからプロジェクトのお話を聞きながら、一緒に綿摘み体験をします。現在、台風19号の被害に遭ったいわきで復旧活動にも従事されている吉田さんから災害救助についてもお聞きします。「共につなぎ、一緒にいわきを応援しよう」を合言葉にこのツアーへの参加者を募ります。



1月のツアー

「懐かしいふる里～東和町の農家で過ごすお正月」

～餅つき・雪遊び・地元の人との交流～

日時 2020年1月4日(日)

集合 福島駅 11:00 解散 福島駅 17:00

定員 30名

内容 毎年恒例の東和町の有機農家の菅野さんの農家民宿を訪れます。毎回好評でリピート率が高いツアーです。2020年の年明けも菅野さんの民宿で一緒に餅つきをしましょう。菅野さんや地域の方々の活動について、全国に離れた避難者同士の情報交換などもしましょう。美味しいつきたてのお餅が待っています。



つながろうツアーの仮申し込み方法

参加者名・人数・電話番号・メールアドレスを記載の上、みんなの手(minnanote123@gmail.com 070-5656-5621)までお申し込みください。折り返し、申し込み用紙、要項を送りますので、要項を読んでいただいた後に申込書に記載し返信していただき、申し込み完了となります。

レギュラーワークショップ きのわでは定期的なワークショップや、楽しいイベント、交流会を企画しています。お友達もお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

月曜日 MON	火曜日 TUE	水曜日 WED	木曜日 THU	金曜日 FRI	日曜日
毎週 大人英語 (入門、初中級) 第4 ベビーマッサージ	第2 美肌 第3 楽ちん抱っこ 第4 グルーデコ 毎週 キッズ英語 (幼児クラス)	予約 鍼灸マッサージ	毎週 大人英語 (中上級) 毎週 キッズ英語 (小学生クラス)	第2 ベビーマッサージ 第3 大人の食育 第4 片付け	予約 朝ヨガ 第2 篠笛カフェ

鍼灸マッサージ&相談(避難者限定)

福島県出身鍼灸マッサージ師による全身マッサージ。お一人30分のセッション。
日時 毎週 水曜日 15:00～17:00
予約要/参加費:無料/講師:松岡善雄

朝ヨガ

インドの伝統的なヨガを伝授。呼吸を意識し、無理なく身体を動かします。シニアの方にもオススメ!
日時 第3 or 4日曜日 9:30～11:00
予約要/参加費:無料/講師:松岡善雄

ふわふわベビーマッサージ教室

ベビマを通じてお子様もママもリラックス!親子の絆作りにも役立ちます。
第2金曜日・第4金曜日
10:30～13:30
参加費:1000円(オイル代、アート写真メールでプレゼント込)
講師:こもざわとえみ、せとあつこ(ローリタッチケア協会認定講師)

楽ちん抱っここと楽しいおんぶ

素手抱っこやベビーウェアリング体験、紐の調整など楽チンなコツを伝授します。
第3火曜日
9:30～11:00
参加費:1000円
定員:5名
講師:山田今日子



グルーデコレッソン

キラキラ素敵なスワロフスキーのストーンを使って、簡単に大人かわいいアクセサリを作る事が出来る新しいハンドワークです。手ぶらで気軽に参加していただけます。
参加費:1000円(材料費込み)
第4火曜日 15:00～16:30
講師:林むつみ



篠笛カフェ

講師が吹き方を丁寧に指導しますので、どなたでもお気軽に参加できます。
笛レンタルあり(事前予約要)
第2日曜日 10:00～11:00
定員:先着5名
参加費:500円
講師:川崎安弥子

幸せ美肌になるレッスン

自分を知り、自分にあった美肌作りを目指します。
第2火曜日 9時半～11時 事前予約要
参加費:1,500円(避難者の方価格)
講師:咲田桃枝(インスピリットメイク)

大人の食育講座

家庭で実践できる丈夫な体を作る方法を体験しながら伝授します。
第3金曜日 9時半～11時 事前予約要
参加費:1,500円
講師:布施元子(食育トレーナー)

色の心理で快適片づけ

色の心理から片付け方を見つけて、片付けをサポート!
第4金曜日 15時～16時20分 事前予約要
参加費:1,500円(避難者の方価格)
講師:中村ちあき(Yua色住環デザイン)

楽しく身につく大人の英語クラス

レベルに合わせて、英語・英会話を指導しています。英語好きの仲間作りもできます。
入門クラス
日時 第1・2・3月曜日 16:20～17:20
初中級クラス
日時 第1・2・3月曜日 15:00～16:10
中上級クラス
日時 毎週木曜日 9:30～10:45
参加費:1,000円
講師:西山祐子

キッズ英語クラス

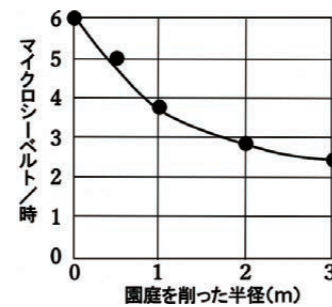
英語で自己表現できる力を身につける指導をしています。
幼稚園クラス
日時 毎週火曜日 15:30～16:30
受講料:月額5,000円(月4回)
小学生クラス
日時 毎週木曜日 16:30～18:00
(フォニックス&英語学習)
受講料:月謝6,500円

安齋育郎先生の「放射線防護学コラム」

「福島プロジェクト」の姿勢と実践

なぜ始めたのか？

先日、金閣寺・銀閣寺住職で、臨済宗相国寺派の管長である有馬頼底さんと対談する機会がありました。相国寺境内の承天閣美術館で有馬和尚と対面した私は、いきなり放射線測定器を持ち出し、部屋の放射線レベルを測定してみせました。自然放射線のレベルは毎時0.05～0.07マイクロシーベルト程度で、京都の標準的なレベルでした。私は、「2011年5月に福島市渡利のある保育園を訪れた時の園庭のレベルは、この約100倍のレベルでした」と説明しました。この保育園に最初に行ったのは原発事故のほぼ2ヶ月後の2011年5月8日のことで、その時の園庭の放射線レベルは毎時6～7マイクロシーベルトありました。私はその時、半径1m、2m、3mと、園庭の表層土をわずかに3cmほど剥ぎ取る実験をして見せましたが、放射線のレベルはみるみる下がり、保育園関係者の除染の有効性に対する認識を新たにする事ができました。園庭の放射線レベルはその後の除染と時間経過による放射能の減衰のために60分の1ぐらいに減り、2019年9月26日の「福島プロジェクト」第63回調査で訪れたときには、せいぜい毎時0.10マイクロシーベルト程度に下がっていました。



「福島プロジェクト」の姿勢

事故後しばらくは一匹狼で福島を訪れていましたが、やがて2013年5月に「同志」を見つけて「福島プロジェクト」を結成し、ほぼ毎月の福島調査を行うようになりました。その回数は10月で65回に達します。

「福島プロジェクト」は、「放射線は被曝しないに越したことはない」という立場を基本に、「放射線から身を守る4つの方法(①除染、②遮蔽、③距離確保、④被曝時間短縮)」を実践的に応用し、被災者の被曝をできるだけ少なくすることを目指しています。

低レベル放射線の影響については、科学者の間にもいろいろな主張があります。「少しでもあびるとがんによる死亡のリスクが高まる」という主張から、「少し浴びた方が体にいい」という「放射線ホルミシス」という主張まで、さまざまです。また、年間の被曝限度についても1ミリシーベルトとか5ミリシーベルトとか20ミリシーベルトとかいろいろな主張がありますし、『美味しんぼ』で有名になった「鼻血は原発事故のせいかな?」という問題でも議論百出でした。

「福島プロジェクト」はそのような論争には深入りしません。火事を目の前にして「消火に必要な水量は何リットルか?」とか、「バケツで水をかけるのがいいか、霧状に噴霧するのがいいか?」とか、「原因は寝タバコは漏電かローソクのか?」とかいった論議に深入りして消火活動を手控えるのではなく、火事場の状況に応じて実行可能な消火活動を遅滞なく進めることが大切だと感じています。放射線の影響についての論争に関しては、それぞれの問題についての専門家が「政治的・金権などのいかなる科学的な圧力や介入も受けずに、根拠のない予断や思い込みで陥ることなく、フェアな論議を深めることが何よりも大切だ」と考えています。

当面、私たちは、被災地の放射線環境を科学的に見立て、「事態を侮らず、過度に恐れず、理性的に向き合う」よう心がけながら、放射線被曝をできるだけ少なくするために「実行可能な方法」を旺盛に試みたいと思っています。放射線環境の見立てに当たっては、できるだけ被災者とともに現場に身を置き、被災者が不安に思っていることによく耳を傾け、情報や気持ちを共有しながら納得のいく対応策を模索していきたいと願っています。それが被災者を励まし、被災者を支援することになれば、それに勝る喜びはありません。調査を希望する読者は遠慮なく連絡してください。

▶ 安齋先生 jsanzai@yahoo.co.jp

「福島プロジェクト」の実践

「福島プロジェクト」はこれまで、福島市・伊達市・二本松市・須賀川市・本宮市・郡山市・いわき市・南相馬市・相馬市・浪江町・大野町・双葉町・楡葉町・富岡町・川俣町・飯館村・三春町などで調査を行いました。調査先もさまざま、個人の住宅、保育園・幼稚園、小学校、寺院、町域全体の汚染実態、農家や酪農家など多岐に及びます。条件の異なるさまざまな場所を測定する中で、放射能汚染の実態には共通の特徴があることも分かってきました。

汚染が溜まっている場所は、大体次の5つです。

- (1)水が流れ下る傾斜地の下の裸地、砂地、草地、窪地
- (2)屋根、雨樋、雨だれが落ちた庭先
- (3)もじゃもじゃ、げげげ、ざらざら、でこぼこの場所
- (4)側溝(とくに水の流れの悪い側溝の底)にたまりやすい
- (5)(とくにスギなど針葉樹の)林地の地表面

以下順番に説明しましょう。

- (1)水が流れ下る傾斜地の下の裸地、砂地、草地、窪地
雨水に含まれて運ばれてきた放射能は、「水は低きに流れる」と同じで、低い方へ低い方へと流れながら、草地や裸地や窪地にたまりました。今でも、傾斜地の下側の草むらや窪地や苔むした土地や舗装されていない土地などには「ホット・スポット」(放射能のたまり場)が見つかります。

- (2)屋根、雨樋、雨だれが落ちた庭先

雨樋の末端が排水溝まで届かず垂れ流し状態になっていたところでは、例外なくその周辺が強く汚染されました。また、雨だれが軒先から落ちた庭先には、事故直後の雨に含まれた放射能が溜まっているケースが多いです。もちろん、除染していない屋根には放射能がこびりついており、家の中で放射線レベルを測って、天井に近いほど放射線が高いのは屋根の汚染が原因です。



- (3)もじゃもじゃ、げげげ、ざらざら、でこぼこの場所
表面がザラザラの場所は、放射性物質が表面の小さな穴などに入り込んでいるので、除染してもなかなか落ちません。表面が「ザラザラの舗装路」と「つるつるの舗装路」とを測定してみると、決まって「ザラザラの舗

装路」の上が放射線レベルが高い傾向が見られます。

また、水はけを良くするために「透水性舗装」が施されている場合には、放射能は表面よりも下の層に入り込んでおり、表面を除染しただけでは汚染は落ちません。

- (4)側溝(とくに水の流れの悪い側溝の底)にたまりやすい
水が滞留しがちな側溝では、汚染雨水が流れ込んで水分だけ蒸発したために、側溝の底に強い放射能汚染が残っていることがあります。水の流れのいい側溝では放射能も流れ去っているので、このような傾向はみられません。とくに、蓋のない側溝のまわりは、放射線のレベルが高いことが少なくありません。



- (5)(とくにスギなど針葉樹の)林地の地表面(写真5)
山や木々も汚染されました。今でも、山林や防風林には汚染が残っていることが多いです。事故のとき木についていた枝葉はやがて地面に落ち、放射能を伴った腐葉土として山地の汚染として定着します。とくにスギの葉のようなケバケバした針葉樹の葉は強い汚染の原因です。福島は山がちな地域ですが、山には重機も入れないので、除染は極めて困難です。現在の汚染の主流であるセシウム137の放射能が10分の1に減るにはちょうど100年ぐらいかかります。



「安齋育郎先生」のプロフィール

経歴

東京生まれ。東京大学工学部原子力工学科卒業。同大学大学院工学系研究科原子力工学専門課程博士課程修了工学博士。「放射線管理におけるPersonnel Monitoringに伴う不確定性の確率論的評価に関する研究」。立命館大学経済学部教授。「核実験停止を求める国際科学者フォーラム」に招待される。京都造形芸術大学非常勤講師として平和学を担当。
現在立命館大学定年退任、名誉教授。

活動報告

2019年9月22日、ふるさととつながろうツアーの3回目に、福島市飯野町の境野米子さんの主宰する「暮らし研究工房」にお邪魔しました。境野さんは44年前に福島県に移住し、築160年の美しい茅葺きの古民家を修復し、その古民家で土に根ざした暮らしをされています。今回は、その暮らしぶりを伺いに福島駅からバスで堺野さんの工房に向かいました。古民家に到着すると境野さん夫婦が笑顔で迎えてくださりました。



古民家ツアーとランチで楽しむ



到着後すぐに、古民家ツアーをしてくださいました。立派な茅葺屋根は震災後、予定していた葺き替え作業が中断しトタン屋根も考えたそうですが、モニタリング目的で葺き替え



できたことや高かった放射線量も除染をして下がったことなどをお聞きしました。次に、母屋の裏にある家の裏にある横井戸から引かれた古来の洗い場に、一番大きい槽から小さい槽に水が落ちてゆく仕組み。そこには魚も住んでいること。その自然な作りに感動しました。循環型の浄化場や家の食卓に乗る野菜を作っている畑なども見学。敷地にあるひとつひとつが興味深いものでした。

ツアーの後は、古民家の中で、ランチタイム。境野さんが私たちのために用意してくれた手作りカレー、副菜、デザートに手作りのヨーグルトと焼き菓子をいただきました。カレーはスパイスの風味豊かでさっぱりとしたテイスト。副菜は野菜、おから、イモのおかずと味噌汁、漬物付きのバランスが良いメニュー。野菜が美味しく優しい味付けでした。自家製ヨ

ーグルトと手作りのジャムやはちみつも美味。甘酸っぱいりんご入りのアップルパイは子どもたちに大人気でした。



震災を経て

その後は、堺野さんから震災後の生活に関してお話を伺いました。震災後、放射線量が高くなり、自分の作った野菜を遠方の子どもさんやお孫さんに送ることもできなくなったこと、福島には来ないように言わなければならなかったことが辛かったこと。そのような状況の中で、なかなか進まない放射線防護対策。それを打開したのが県内から勇気を持って避難した人たちが増えていったこと。避難者をこれ以上増やしたくないという危機感から放射線防護に動いた行政。その意味では避難者にとっても感謝していると述べられました。



震災後、それまでと同じテーマの記事を雑誌等に投稿することを躊躇していた頃、福島状況を書く機会があり自分の思いを率直に書いたそうです。一本来の暮らしができなくなった原因でもある原子力発電所の事故。日本には54基の原発がありその中の数基が事故より壊れ、そこから放射性物資が県内を中心に拡散して土地を汚染してしまった。原発事故からの「ゴミ」を全て福島の問題として福島県に押し付けるのは強引であると思う。福島のごみや居住地の近くで原発から作られるゴミは、原発から作られた電力の恩恵を受けている者一赤ちゃんからお年寄りまで一国民一人一人が引き受けるべきだと考えている一と。そして反論があろうとも、子どもや孫に故郷に来ると言い放つ辛さを考えたら反論など大したないとその姿勢を変えることがなかったと。

そんな境野さんの力強い話を聞きながら、多く



の参加者が震災に対する思いを素直に話し始めました。ふるさとへの郷愁、やるせない思い、不条理、切なさ、辛さ、、、8年たった今でも私たちにはまだまだ根強く残っている思いや解決できていない課題があることを実感しました。それぞれの心にまだ尾を引く震災の傷跡をこのように互いに吐き出し、伝え、そして行動に移すことが大切なことも知りました。

実り多いワークショップの時間



女性の参加者が楽しみにされていたワークショップタイムになり、まずは、境野さんからエゴマとシソを使ったローションの作り方を学びました。まずは、ローションに作り。ローションは本来保湿の目的でつけるもので、匂いやエッセンスはあくまでアクセントであり保湿以上の効果は期待できないと教えていただきました。薬学部出身でこれまでの経験と実践に基づいたお話はとても説得力があり、有益でした。次は実践。理科の実験のように、計量カップやシリンダーを使いながらレシピに従いローションを作りました。ローションの材料は私たちの手に入りやすいものばかり。この作り方に従い好みの香りなどを入れれば簡単にローションができてくれます。ひとり2本のローションのお土産ができました。毎日使っても3ヶ月くらいは持ちそう。

次に、座敷に横になり、15分でできる健康体操を習い

ました。ゆっくり呼吸をしながら、腕、腰、脚を回し、体と心を整えていく時間。たった15分のうちに私たちはリラックスでき、心を体も気持ちよくなりました。毎日この体操をしている境野さん。とても健康そうです。食餌と体操で病気が克服させてこられました。これを毎日取り入れたら一日がとても心地よくなることを感じました。

最後に

時間になりバスが迎えにきて、境野さん夫婦と別れを告げました。毎回のことですがあつという間の一日でした。今回も各地から避難移住者の方、帰還者の方が集まり、静かで温かい時間を過ごすことができました。境野さんには、美味しい健康ランチでおもてなしいたご、力のこもったお話で私たちに勇気づけていただき、ワークショップを通じて生活に役立つ知恵を教えてくださいたい感謝しております。ありがとうございました。

毎回違うテーマで開催する「ふるさととつながろうツアー」ですが、参加者とゲストが出会い、その場にぴったり合ったテーマになるのが不思議です。出会いを通じて、主催者側で予想もしていなかった〜気づき、共感、喜び〜が生まれます。そしてそれが、私たち一人一人をインスパイアリングして、今後の生活を生き抜く力を与えてくれることだと感じています。

次回のツアーでも素敵な出会いができることを楽しみにしています。

皆様、福島でまた会いましょう！



Minnanote is supported by

福島県



国際ソロプチミスト京都 - 北山

発行者：一般社団法人みんなの手

〒612-8082 京都市伏見区両替町4-319
近鉄「桃山御陵前」駅 徒歩2分
京阪「伏見桃山」駅 徒歩1分

メールアドレス: minnanote123@gmail.com
フェイスブック: www.facebook.com/minnanote



みんなの手

相談・お問い合わせ・お申し込み
TEL: 075-203-8705
携帯: 070-5656-5621

きのわ

ワークショップ・イベントお申し込み
TEL: 075-632-9352